

あなたと市議会



りゅうじょう こ し
「龍驤虎視」

横手城南高等学校3年 おおやま あい み
大山 愛未さん



む さいしよく
「夢彩色」

横手城南高等学校2年 すず き ま お
鈴木 真央さん

主な内容

定例会ピックアップ	2
委員会審査報告	3
一般質問	5
先進地から学ぶ・ぎかいトピックス	12

作品のこだわりポイント！

◆大山 愛未「龍驤虎視」

この作品は、その名の通り、龍と虎が互いに睨み合い、戦いを始めようとしている場面です。そして、鳥居の前の陰陽師の少年が龍笛を奏でながら、その戦いの行方を見守っているというストーリーで描きました。

◆鈴木 真央「夢彩色」

この絵の鳥は「ワカケホンセイインコ」という外来種です。その下の蛾は「オオミズアオ」という蛾で、日本全国に生息しています。「非現実」感を念頭に、色鉛筆で何度も塗り重ね、深みのある色を出せたと思います。

賛否が分かれた議案と審議結果

・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。
※ 小野正伸議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対

案件名 会派・議員名		議案第53号 横手市大森町高齢者生活支援ハウ ス設置条例の一部を改正する条例	議案第57号 第3次横手市総合計画基本構想につ いて	議案第73号 令和7年度横手市水道事業会計補正 予算(第1号)	議案第78号 横手市議会議員及び横手市長の選挙に おけるビラの作成の公営に関する条例 及び横手市の議会議員及び市長の選挙に おける選挙運動用自動車の使用の公営 及び選挙運動用ボスターの作成の公営 に関する条例の一部を改正する条例	陳情7 第5号 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める 意見書」採択に関する陳情書	陳情7 第6号 再審法改正(刑事訴訟法の一部改正) の意見書の採択を求める陳情書
		原案可決	原案可決	否決	原案可決	不採択	採択
表決数	賛成	23	19	2	22	4	19
	反対	1	5	22	2	20	5
市民の会	宮川 拓也	○	●	●	●	●	○
	福田 誠	○	○	●	●	●	●
	大日向香輝	○	○	●	○	○	●
	菅原 正志	○	○	●	○	●	●
	齋藤 光司	○	○	●	○	●	●
	菅原 恵悦	○	○	●	○	●	●
さきがけ	青山 豊	○	○	●	○	○	○
	佐藤 誠洋	○	●	●	○	●	○
	寿松木 孝	○	●	●	○	●	○
	播磨 博一	○	○	●	○	●	○
	塩田 勉	○	○	●	○	●	○
新政会	高橋 聖悟	●	○	●	○	●	○
	柴田 忍	○	○	●	○	●	○
	佐藤 忠久	○	○	●	○	●	○
	小野 正伸	-	-	-	-	-	-
	高橋 和樹	○	○	●	○	●	○
創成の会	林 一輝	○	○	●	○	●	○
	本間 利博	○	○	●	○	●	○
	加藤 勝義	○	○	●	○	●	○
日本共産党	鈴木 勝雄	○	●	●	○	●	○
	立身万千子	○	●	●	○	●	○
公明党	土田百合子	○	○	○	○	○	○
	井上 忠征	○	○	○	○	○	○
新風の会	木村 清貴	○	○	●	○	●	○
実横会	加藤 雄太	○	○	●	○	●	○

議案 PICK UP!

■議案第66号
財産の取得について(横手市立
体育館 スポーツ備品(バスケット
ボール関連))

横手市赤坂に建設中の、横手市立体育館で使用する移動式バスケットゴールや得点表示システムなど、バスケットボール関連の備品の購入について審議が行われ、可決されました。



建設中の横手市立体育館
(令和8年度オープン予定)

■議案第74号
財産の取得について(横手市立
小中学校学習用端末)

現在、市内の小中学校で児童生徒が一人一台使用している学習用タブレット端末が更新時期を迎えることになり、今回新たに5,228台の端末の購入について審議が行われ、可決されました。

■議案第77号
令和7年度横手市一般会計補正
予算(第3号)・エネルギー価格
高騰対策支援事業

市内に住所または事業所を有する中小企業・農業法人を対象として、水道光熱費及び燃料費の一部を補助(上限10万円)する予算について審議し、可決されました。

陳情の審査結果

採 択

- ◆陳情7第6号 再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)の意見書の採択を求める陳情書
(再審法の改正をめざす秋田の会 弁護士 有働 悠一氏 他5名)
- ◆陳情7第7号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
(連合秋田横手湯沢地域協議会 議長 岩佐 真氏)

不採択

- ◆陳情7第5号「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書
(秋田弁護士会 会長 石田 英恵氏)



本会議の様子は、
横手市議会ホームページから
ご確認いただけます。

厚生常任委員会

厚生 常任委員

本間 利博
立身万千子
寿松木 孝
宮川 拓也
井上 忠征
播磨 博一
菅原 恵悦
佐藤 忠久



適切な利用者負担が
求められる

問 前回定例会で、冬期間の生活に困って入居されている利用者への説明が足りないなどの理由などで同議案が否決されているが、今定例会への再提案にあたり、どのような内容に改善されたか。

答 入居者の急激な負担増を緩和するため3年かけて負担額を段階的に引き上げ、実費相当額に見直すための条例改正議案である。現入居者からは事前に意見を聞いており、今後入居する方については、事前相談において内容を説明していきたい。

POINT!

大森町高齢者生活支援ハウス
入居者負担金見直しの内容は？

産業建設常任委員会

産業建設 常任委員

菅原 正志
柴田 忍
加藤 雄太
鈴木 勝雄
林 一輝
佐藤 誠洋
齋藤 光司
高橋 和樹

問 今回の改正で連帯保証人の規定の見直しはされるが、民間保証会社の利用については、今後の課題としていく。



入居要件の連帯保証人
規定の見直しを実施

答 今回の改正は、連帯保証人を2人から1人にするものだが、これまで2人確保できずに入居を断った方への声掛けなどの予定はあるか。

答 連帯保証人2人を確保できず入居を断った方の記録等を残していないため声掛けは難しい。今後ホームページや市報などで周知を行っていく。

問 連帯保証人に民間保証会社は利用できないのか。

答 今回の改正で連帯保証人の規定の見直しはされるが、民間保証会社の利用については、今後の課題としていく。

POINT!

市営住宅入居時の
連帯保証人について

総務文教常任委員会

総務文教 常任委員

土田百合子
大日向香輝
木村 清貴
福田 誠
青山 豊
高橋 聖悟
加藤 勝義
塩田 勉

問 計画期間10年を5年にすることは考えられないか。また、以前に「首長任期に合わせた総合計画にしてはどうか」との声があつたが、議論はしたか。

答 基本計画は、柔軟に社会情勢等の変動を反映させることを想定しているほか、実施計画は毎年度見直しを行っている。計画期間を短くすると、振り返りから次の計画へ反映させる過程も短くなるため、現行の前期・後期5年ごとの見直しが望ましい形である。首長の任期に合わせるとなれば、策定期間が短く現実的ではない。市長のマニフェストに関しては、基本計画の重点方針に掲げることにも可能である。



みんなで協議して
策定する総合計画

POINT!

総合計画策定の際に社会情勢
の変化を考慮したか？

予算決算委員会 産業建設分科会

雄物川浄水場事業 取水見込みに疑問の声

◆令和7年度横手市水道事業会計
補正予算（第1号）

Check!
取水見込みは大丈夫なのか

問 新設井戸から取水できなかった結果への調査費ということだが、「用地外の候補地の調査」という項目がある。同じ費用をかけるなら、最初から井戸の場所の見直しをすべきではないのか。

答 現在使用中の水源もあるが、湧出量や井戸の寿命の問題もあり、既存の井戸だけで、今後40～50年と浄水場を運転させることはリスクが高い。今後の水量確保の分析とあわせて、新設井戸への追加対策を考えていかねばならない。

問 調査の結果によっては水量確保のために横ボリリングを実施することだが、適切なものか。また、国土交通省が管理する雄物川の土手があり、土手の強度が保てるのか問題になると思われる。許可が下りるものなのか。

答 これは、水道設計指針にもうたわれ、多くの実績がある工法であり、横ボリリングで施工した井戸も当市には現存する。国



建設が進む雄物川浄水場

と協議し、もっと太い集水管を河川側に挿入した事例もある。今後、国土交通省と具体的な協議を行っていくことを考えている。

討論
反対

浄水場整備そのものに反対するものではない。今回採掘した井戸を生かすための調査費とのことだが、調査後の対応策を含め、安心して任せられる案ではない。候補地の再選定、現在の水源を生かすといった代替案を早急に出して、建設現場や受益者に影響を及ぼすことがないことを切に願うものであり、本案に反対する。

否

採決の結果、出席者起立なしにより**否決**すべきものとして決定しました。

解説

雄物川浄水場とは

雄物川沼館地内に設置予定の新しい浄水場で、雄物川地域と平鹿地域の一部が給水範囲となる。令和9年度完成予定だが、水源として新設した井戸からの取水量が、計画の1/5以下であったため、追加の対策が必要とされている。



◆令和7年度横手市一般会計補正
予算（第2号）

Check!
伝統的産業緊急支援事業について

問 米の価格高騰に対応した事業で、酒造業などが対象とのことだが、それ以外の米を利用して事業への支援は今後考えていくのか。

答 今回は、酒造業及び味噌、麴を製造している事業者に対しての支援としているが、今後、国の交付金など様々な部分も含めながら内容を精査していきたい。

◆令和7年度横手市一般会計補正
予算（第3号）

Check!
「横手市エネルギー価格高騰対策支援事業」について

問 募集期間は決まっているのか。また、対象者の要件を分かりやすく周知するべきではないか。

答 現在のところ、募集期間については8月1日から9月末までを予定している。前回同様SNSやホームページ、商工団体等の協力を得ながら、チラシ等を配布し周知する予定でいる。また、対象者の要件については分かりやすく丁寧にお知らせしていきたい。

13名の議員が市政を問う ココが聞きたい!



6月10日～12日に一般質問が行われ、13名の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

- ◆高橋 和樹 議員
市長就任から12年、公約の自己評価は
- ◆加藤 勝義 議員
りんご腐らん病まん延防止対策の条例制定を
- ◆立身万千子 議員
子どもも大人もひきこもりへの支援を!
- ◆井上 忠征 議員
配食サービスの利用拡大を図るべき
- ◆宮川 拓也 議員
地域のための持続可能な消防団活動を
- ◆青山 豊 議員
町内会・自治会の今後は
- ◆本間 利博 議員
公共ライドシェアの活用を
- ◆福田 誠 議員
高齢者福祉の充実へ向けた施策を

- ◆寿松木 孝 議員
大幅な給与増額の根拠は!
- ◆鈴木 勝雄 議員
重点作物への産地交付金の高上げを
- ◆土田百合子 議員
シン・十文字拠点エリア構想に防災の視点を
- ◆菅原 恵悦 議員
道の駅十文字の駐車場拡張は必要である
- ◆菅原 正志 議員
女性が活躍する職場の環境づくりを



二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。



一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

問 市長は「議員が悩みに悩み苦渋の決断を下すような難しい提案をし続けている」と公言しているが、庁内での十分な議論も少なく、市民や議会への丁寧な説明がないまま提案していることが議案の否決や修正に至っているのではないか。

答 今後は議案の提案にあたり、情報、時間、議論の不足だったこ

問 実現できなかった公約と反省点はあるか。あればその理由は。

答 人口減少・少子化対策、女性が活躍できる場の創出、障がい者に対する多様な自立支援の創出、個人経営者や中小企業への支援など、結果を出せず残念な気持ちだ。

問 一昨年市長が自ら公言した人口減少対策の成果の糸口とは何か。

答 新しい雇用の場の創出や道路整備、ダム事業等、横手市を結ぶライフラインの健全化等が以前より発展的に見える部分を指している。

問 数字で明確・明快地目標を設定するということとは否定しない。

答 数字で明確・明快地目標を設定するということとは否定しない。

問 鈴木秋田県知事の打ち出した公約と県政運営の手法に対し、市長自身はどう連携していくのか。

答 元々県庁の各部局、担当との連携は機能しており、問題なく進められると考えている。

市長就任から12年、 公約の自己評価は

高橋 和樹 議員
たかはし かずき



1. 人々を魅了する空間を創出し横手に賑わいを作る
2. 安全と安心に支えられたまちづくりを進める
3. 農地山林フル活用で日本一の複合農業産地を目指す
4. 高速道路等、社会基盤強化を図る
5. 人口減少に歯止めをかけるべく、各種施策を力強く進める
6. 産業を育成し雇用を創出する

高橋大市長が掲げた三期目の6つの政策の柱

加藤 勝義議員

かとう かつよし



りんご腐らん病 まん延防止対策の条例制定を



問 昨年、9月定例会一般質問でりんご腐らん病まん延防止条例制定の提案をした。県とJA果樹課と、条例が必要か検討すると答弁があった。その後の対応は。

答 実際に条例化している自治体もあるが、樹木や土地は個人財産である。民法の定めから個人が管理するものだ。弁護士に相談したが、勧告や命令は時間を要するため、即効性のある対応が難しく、何より特定の作物に対して条例化することに市民から理解が得られないのではないかなど、ハードルが高いため現実的ではない。条例化に代わる対策を検討する。

問 りんご腐らん病は感染力が強く、りんご枝幹を腐敗させ、樹木全体を枯死に至らしめる。その対策は伐採除去して焼却対応するしかない。多くの防除方法のあるほかの作物とは違う。横手市のりんご栽培がこの腐らん病で、危機



幹に発病した胴腐らん病

的状況である。現状を把握するために、まずは調査が必要だが、他人の樹園地に入り調査はできない。放任園や樹園地に入って、調査や勧告と代執行ができる条例が必要だ。共同防除組合の方々は、自ら対応しているが、地域全体での対応が必要だ。

答 問題は共有している。市として出来る限りの中で、真摯に対応していく努力をする。差し迫った問題だということは認識した。

■その他の質問

●合併20年について

立身 万千子議員

たつみ まちこ



子どもも大人も ひきこもりへの支援を！



問 昨年度実施した市民アンケートにより、全国平均を上回るひきこもり問題が判明したが、これに対応するために今年度新設された市の機関はどういうものか。

答 まるごと福祉課内に「ひきこもり地域支援センター」を設置するとともに、Y²ぷらざ1階に「こども・若者相談窓口」を開設し、当事者や家族からの相談に対応している。また、本庁舎1階に「ふくしの窓口」を設置、成人のひきこもりや生活困窮、高齢者や障がい者の権利擁護等の困りごとをワンストップで受け止める体制となっている。

問 開設後2カ月ほどだが、それぞれの来訪者と相談内容は。

答 5月末時点で、本庁舎1階では79件、Y²ぷらざ1階では591件の利用があり、不登校や友人関係、親子関係などの相談が寄せられた。Y²ぷらざは、安心して過ごせる居

場所としても利用されている。

問 孤立・孤独状態の本人へのアウトリーチ支援をどう実行するのか。

答 必要な支援につながっていない世帯などの情報が寄せられた場合、相談を待たずに出向くことも含め、複数の関係機関が連携し対応する。

問 具体化することが困難な「地域の支え合い」をどう実行するか。

答 近隣同士の交流や町内会活動などを通じて連携を深め対応する。

■その他の質問

●こども誰でも通園制度について



Y²ぷらざ1階の「こども・若者相談窓口」

井上 忠征議員

いのうえ ちゅうせい



配食サービスの 利用拡大を図るべき



問 市で行っている高齢者福祉事業の配食サービスは、要介護認定者も含めて希望者全員が利用できるように見直しすべきではないか。

答 令和8年度中に行う第10期介護保険事業計画において、この利用対象者の要件を含めた総合的な見直しが必要を検討する。

●観光振興について

問 観光を成長産業へ育てるための方向性と、重点的な支援の方向性を示すべき。また観光振興計画の目標値の設定は見直すべきでは。

答 観光施策は第2次横手市総合計画後期基本計画においても重点施策として、外貨を稼ぎ地域経済の好循環を創り出す重要な施策と位置付けている。横手ならではの景色・文化・食・人・コトなどの質を上げる取組を進め、市民が誇りを持って案内することのできる観光まちづくり、人づくりを地道に目指していく。



利用対象者の拡大が
望まれる配食サービス

各種計画の目標設定については、県と連携しながら検討を進める。

●人口減少対策について

問 婚活支援事業を強化すること、婚姻数の増加と出生数の増加につながるのではないか。

答 令和6年度に実施した若者意識調査によれば、「適当な相手に巡り合えない」と回答した方が最も多く深刻化している。市では多様な支援を行っているが、今後も男女の出会いや結婚につながる仕組みづくりを進めていく。

宮川 拓也議員

みやかわ たくや



地域のための 持続可能な消防団活動を



問 昨年の条例改正により、これまで各班へ支払われていた消防団員の年額報酬が個人支給に変更になった。このことで、各班の活動運営に影響はないか。

答 消防活動に支障が生じたなどの報告はなく、影響はないと捉えている。

問 今のところはこれまでに各班に支給されていた活動費で備品の購入などが賄われているのだと思うが、今後はそういった活動費が入ってこなくなる。団として活動している以上、設備の維持管理のための消耗品なども含め、お金はかかってくる。継続的な活動ができるよう、各班に適切な支援をお願いしたい。

答 被服や機器の修繕など、活動に必要な経費はこれまでと同様に消防団からの要望を確認の上、対応していく。細かな備品や消耗品などは各地域局や消防本部総務課に連絡していただければ、購入して手配をする。



横手市消防団が
積土のう工を行う様子

問 消防団は地域の防災のための組織であるはずだが、今は訓練大会のための組織になっているように感じる。災害や有事の際に地元で活躍できる消防団としての組織づくりをお願いしたい。

答 災害対策をはじめ、平時の防火、防災活動において消防団が中心となり、地域に根ざした実効性のある組織として活動ができるよう取り組んでいく。

青山

あおやま ゆたか

豊議員



町内会・自治会の

今後は



問 行政にとって町内会・自治会はどのような存在か。

答 市報の配布やごみ集積所の管理、防災への取組など、市政運営に協力いただいている。住民と行政をつなぐ役割を担うなど、言うまでもなく重要な存在である。

問 町内会・自治会に対する各種の支援事業は、その維持や発展につながっていくものなのか。

答 様々な活動の一助となっているものと考えている。しかしながら、役員の高齢化や担い手不足といった課題を抱えているため、今後もこれまでも同様に維持・発展につながっていくかは見通せない状況だ。地域の実情にあわせて、形が変化していくことも視野に入れないながら、柔軟な支援を今後も継続していく。

問 市が町内会・自治会に対してどのような協力をお願いしているのかを全体で把握する必要がある。



町内会の負担軽減のために例えば市報の配布方法を考えてみては

そして、負担軽減をどのようにして図っていくのか、庁内で議論すべき時がきているのではないかと。

答 負担をかけているという現状は認識している。きちんと整理したうえで、軽減する形というものをしっかりと検討していきたい。

■その他の質問

●地区交流センター運営協議会について

●市内経済の状況分析について
●「エネルギー価格高騰対策支援事業」再実施の可能性について

本間 利博議員

ほんま としひろ



公共ライドシェアの

活用を



問 横手市の公共交通の手段として横手デマンド交通、市内循環バス、狙半内共助運営体によるミニバン運行「上畑線」、スクールバスを活用した「柏木・大森病院線」などがあるが、評価と課題を伺う。

答 集落が点在する当市では全域で交通網ができており、日常における移動手段として一定の評価をしている。課題として人口減少や生活様式の変容により、路線バス等の公共交通の利用者が減少していることが挙げられる。

問 デマンド交通は予約が必要なこと、運行時間が限られていること、中心バスゾーンでの乗り入れができないこと、市外への移動が難しいなどの問題点がある。市民要望に応えるためには新しい手段が必要と感じる。公共ライドシェアは、一種免許証で自家用車可以使用することから、地域の方の協力が期待できる。積極的な検討ができないか伺う。

答 公共ライドシェア等様々な交通施策を展開し、地域の実情に合った交通便利性向上を図っていく。

問 道路運送法の許可や登録を要しない運送、いわゆる白タク行為にあたる運送についての通達が国交省から出ている。これによると地区交流センター事業などへの参加者の送迎が可能とあるが、そのような理解でよいのか。

答 制度的にはそのようなことが可能である。



狙半内共助運営体によるミニバン運行「上畑線」

福田 誠議員

ふくだ まこと



高齢者福祉の充実へ向けた施策を



問 介護予防サービスの柔軟な運用について市の考えは。

答 介護保険料の上げ幅を少なくするために、給付の適正化を図っている。公的サービス以外の利用により、健康づくりに取り組んでいただきたい。

問 高齢者の足の確保について、地域住民のニーズを踏まえた循環バス運行ルートの見直しにおける市の考えを伺う。

答 横手市地域公共交通活性化協議会にて議論を始めている。将来も見据えた循環バスのルートに関する実証実験に向けて取り組む。

問 見守り安心事業について、高齢者の孤立防止と緊急時対応に向けた見守り体制の現状と今後の強化策は。

答 今後も見守り安心事業と緊急時あんしんバトン配布事業をあわせて利用していただくほか、地域住民、関係団体、行政が連携し



横手市推奨情報提供アプリ MINEBA

ながら、見守りができる体制づくりに取り組んでいく。

問 介護予防普及啓発事業について、スマホアプリMINEBAを利用した事業の実施状況と今後の活用方針について市の見解を伺う。

答 アプリとスマートウォッチを活用した介護予防教室などを行っている。今後も継続した情報展開、交流機会の提供、中学生との連携等により事業を推進していく。

■その他の質問

●行政情報の整備と発信について

寿松木 孝議員

すのみ こと



大幅な給与増額の根拠は！



問 四役の給与額が大幅な増額となったことに疑問の声が上がっている。市長は説明をすべきでは。

答 特別職報酬等審議会から、引上げは妥当だとの答申をいただき、令和6年3月に議決していただいた。市民の皆さまには、市報やホームページなどでお知らせしている。

問 特別職の報酬・給与については、国から「公務員給与を参考にしないように」との通知が出されているが、市は過去の職員給与の推移を報酬等審査の参考資料として提出しており、国の指導通知に違反しているのではないか。

答 審議会へ国の通知を超えるような資料の提供をしたつもりはない。

問 報酬等審議会では、四役の現行の給与を市町村合併時に戻し、更に10%から25%までの間で増額したいとの諮問だが、その根拠は。

答 たたき台として合併協議会で

特別職給料額（月額）

職名	改定前	改定後	引上率
市長	820,000円	1,104,000円	1.35倍
副市長	658,000円	822,000円	1.25倍
教育長	566,000円	707,000円	1.25倍

特別職報酬額（月額）

職名	改定前	改定後	引上率
議長	456,000円	524,000円	1.15倍
副議長	411,000円	472,000円	1.15倍
議員	384,000円	441,000円	1.15倍

引上げとなった特別職の給料・報酬月額

決定した給与額を基準として、10〜25%の増額を示したものである。

問 四役の給与額は条例で定められており、変更には議会で議決する必要がある。市が提示した基準額には法的裏付けがない。議員の報酬の改定は、議員活動の実態を勘案したもので、報告書により根拠を示している。四役の給与の増額についても根拠を示すべきでは。

答 提示した四役の給与額については、あくまで議論をするための目安として示したものである。

鈴木 勝雄議員

すずき かつお



重点作物への 産地交付金の嵩上げを



問 国に変更を求めてきた水張り5年ルールが変更されたが、制度改正前に自費で水張りを行った農業者への支援はあるか。

答 要件に沿って水張りに取り組んだ農業者が不利益を被ることがないよう、国に対応を求めている。

問 米の価格高騰に伴い、主食米への作付転換が行われ、高収益作物の作付面積が減少することを危惧している。重点作物への嵩上げ補助ができないか。

答 重点振興作物8品目及び振興作物11品目に対して、国からの産地交付金へ上乗せしている。現時点で追加支援等は考えていない。

●会計年度任用職員の対応運用について

問 会計年度任用職員の任期は1年となっているが、継続雇用とすることはできないか。

答 今年度から、公募によらず再任用できる期間を3年から5年

に改めた。地方公務員法の規定により、任期は原則1年という制度であり、ご理解いただきたい。

問 会計年度任用職員の給与水準は低く、正職員と同一労働同一賃金となっているのか。

答 会計年度任用職員の給与は、常勤職員の給料表を使用し、決定している。3年間は経験年数に応じた昇給があり、継続雇用された場合には上限で定額となる。

■その他の質問

●喫煙所等の充実について



市の重点振興作物の一つ
アスパラガス

土田 百合子議員

つちだ ゆりこ



シン・十文字拠点 エリア構想に防災の視点を



問 「シン・十文字拠点エリア構想」の完成予定はいつ頃か。

答 今年度、コンセプトや方向性などを定めた基本構想を策定する。エリアには、子どもを含めた多世代が集える場として、子どもたちが天候や季節に関係なく、一年を通して遊べる施設を考えている。

問 具体的なスケジュールは。

答 6月17日に基本構想策定委員会を設置し、6回程度開催し、年度内に策定する予定である。来年度は、より具体的に施設規模や配置、スケジュール、想定事業費などを定めた基本計画を策定する。次世代を担う中高生によるワークショップを開催するなど広く意見やアイデアをいただき、議論を深めていく。

問 防災公園や防災学習センター導入などを検討してはどうか。

答 防災や安全、安心というテーマは、今後、より重要になると認

識しているので検討項目として、提案を受け取らせていただく。

●119番映像通報システムについて

問 「119番映像通報システム」導入を提案したが、その後の取組について伺う。

答 本年6月11日より試験運用を開始した。このシステムは、通報者のスマートフォンと通信指令室で映像をリアルに共有し、的確な応急手当を行い、映像共有により迅速な活動につながることから、12月の本格運用を目指していく。



十文字庁舎周辺で予定されている「シン・十文字拠点エリア構想」とは

菅原 恵悦議員

すがわら けいえつ



道の駅十文字の

駐車場拡張は必要である



問 副拠点エリア構想の中に、

要望の多い旧文化センターのような複合施設も検討すべきではないか。また、防災道の駅に選定された「道の駅十文字」は常に利用者が多く駐車場が狭いため、防災を

考慮し、副拠点エリア構想の中で拡張を検討すべきではないか。

答 子どもを含めた多世代が集える場として、子どもたちが天候や季節に関係なく遊べる施設が良いと考えており、策定委員会での協議や市民の皆様のご意見をいただきながら進めたい。また、災害時に駐車場は、重要な機能の一つであると認識しており、道の駅との連動制や防災の視点も重視しながら「シン・十文字拠点基本構想」を策定していく。

●「令和の米騒動」への市の対応は
問 毎日のように報道される米問題は、主食用米の作付面積拡大につながる反面、加工用米や酒米



防災道の駅に選定された「道の駅十文字」

等の原材料米確保に影響を与えるものと考えている。生産者と消費者に適正な価格の提示を国が責任を持って行うよう、強く訴えるべきと思うが、市の考えは。

答 発酵のまちづくりを進めている当市は、伝統的酒造りを大切に守り、育てていくため、酒米の作付け確保は重要と考えている。生産者や事業者の意見を聞き、必要な対策を探っていく。また、次世代の農家が安心して農業経営を継続できるよう国に働きかけていく。

菅原 正志議員

すがわら ただし



女性が活躍する

職場の環境づくりを



問 性別に関わらず、全ての職員がその能力を十分に発揮できる

環境の整備が重要である。中でも女性管理職の登用については、国の30%目標に遠く及ばない17%である。これまでの取組にさらなる工夫が必要と考えるがどうか。

答 働きやすい環境の整備や柔軟な働き方への取組を進めるとともに、キャリア形成への意識を醸成するなど、積極的に昇任試験を受験できる取組を進める。

問 採用辞退者、中途退職者が一定数いると聞くが、市政への影響は。

答 当市だけの課題にとどまらず、公務員志望者の減少や就職先の多様化など、社会的傾向によるものと捉えている。将来的な行政運営に支障をきたさないよう危機感をもって対応している。

問 市政懇談会は、一般市民よりも職員の参加が圧倒的に多いように感じた。会場ごと、地域局職員の



女性が活躍できる職場の環境づくりが求められる

参加があればいいと思うがどうか。
答 本庁にいる職員にとって、各地域の住民の方々の声を聞く貴重な機会と捉えているが、意見として参考にさせていたいただく。

●ふるさと納税の現状と寄附金の使い方について

問 寄附金が多く項目で使われており、その効果が分かりづらいのではないか。

答 ホームページ掲載、「横手市ふるさと納税口ゴマーク」の掲示など一層の周知を図っていく。

総務文教常任委員会

4月21日～23日

先進地から学ぶ（行政視察報告）

防災行政について

愛知県豊橋市

ポイント

■防災DXとドローン飛行隊
SNS等から災害情報をAIと人の目で精査し、迅速かつ正確に共有できる体制を構築。加えて、ドローン飛行隊を構成し、災害時の被害状況の把握や情報収集、平時時の訓練や他部局との連携、調査活動など幅広く活用している。

視察を終えて

※1 AIリスク管理情報サービスの導入やドローン飛行隊の結成により、災害時の迅速な情報収集と対応体制が整備されていた。当市でもドローン導入は行っているが、平時からの訓練強化や企業との連携、市民のSNS情報の活用など、多角的な備えが必要である。AIを活用した防災の在り方について、早急に検討を進めるべきである。



教育分野におけるICT活用について

愛知県豊田市

ポイント

■教育分野におけるICT活用
ICT活用授業の実施率が77・7%に達し、教員による活用が進んでいる。個別最適な学びの推進のため、AI型ドリルを導入し、知識・技能の習得効率化を図っている。導入後は学習支援効果や復習の定着向上が見られた。

視察を終えて

▼AI型ドリルを活用し、児童・生徒一人ひとりに応じた個別最適な学びが進められていた。ICT活用により基礎知識の習得が効率化され、探究学習の時間を創出できている点は大変参考になった。当市でも、ICT教育の更なる推進と教員への研修体制の強化が求められると感じた。今後、強く要望していきたい。



栄地区の住民の皆さん

6月5日、栄地区住民の皆さんが、市議会の取組を今後の活動の参考とするため、議場の見学にいらっしゃいました。

議場へ
ようこそ!

議場に入ると議員が張り切る気持ちがあった。

すずき しげひろ
鈴木 成弘 さん



議員には丁寧に審議していただき、市民のために頑張してほしい。

こまつ じゅういち
小松 重市 さん

吉田小学校・醍醐小学校・ 増田小学校6年生のみなさん

議場へ
ようこそ!

6月10日は吉田小学校と醍醐小学校の6年生の皆さんが、6月11日は増田小学校の6年生の皆さんが校外学習の一環で、市議会の仕組みや活動内容を知ることなどを目的に、市議会の一般質問の傍聴にいらっしゃいました。

吉田小学校



横手市のことを真剣に話していることが伝わってきた

沢山の人
が来る賑わい
のある横手
市になって
ほしい



おだしま あゆ
小田嶋 彩夢 さん



しょうじ りなの
東海林 志乃 さん

吉田小学校・醍醐小学校・増田小学校の皆さんが市議会を傍聴した様子は、6月23日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。

放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



増田小学校



活気のある暮らしやすい街になればよいと思う

伝統的な祭が伝わっていくようになってほしい

醍醐小学校



あおーな A-o-n-a のような施設が沢山ある市になってほしい

市長と議員が真剣に話し合う姿が印象に残りました



いしかわ いか
石川 いち果 さん



ふじわら ゆの
藤原 悠乃 さん



ないとう りこ
内藤 莉心 さん



ふじた こうな
藤田 心成 さん

議会傍聴のご案内

本会議はだれでも傍聴することができます。傍聴される方は、直接横手市役所本庁舎7階の傍聴席においでください。なお、席に限りがございますので、団体等での傍聴を希望される場合、事前に議会事務局（0182-32-2535）にご連絡ください。

車イスをご利用の方が傍聴される場合、入退場の際に職員がサポートしますので、傍聴にお越しになる日時を議会事務局にお知らせください。

長年の功績を称え 全国市議会議長会表彰

5月20日に開催された「全国市議会議長会第101回定期総会」において、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績により、本市議会より2名の議員が表彰されました。

議員20年以上特別表彰

木村 清貴 議員

議員15年以上表彰

青山 豊 議員



(左から) 小野 正伸議長、木村 清貴議員、青山 豊議員



政務活動費 領収書等も公開しています

横手市議会では、より透明性が高い開かれた議会を目指しています。政務活動費の支出にあたっては対象となった経費の収支報告書だけでなく、領収書等についてもホームページで公開しています。



市議会のハテナ



政務活動費って…なに？

市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、横手市では議員一人に対し月額1万円を交付しています。

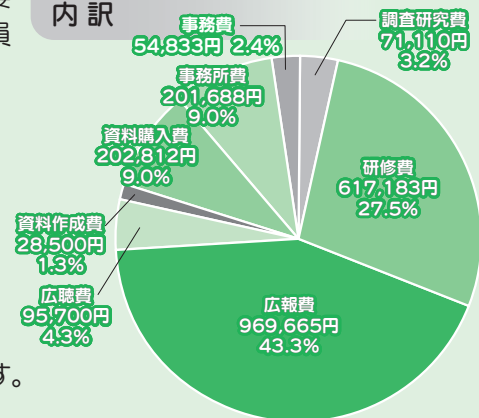
令和6年度の収支状況は？

令和6年度は25人の議員に対し合計300万円を交付しました。執行額は約197.3万円（交付額の65.7%）となりました。

使わなかったお金はどうなるの？

交付された政務活動費に残額があった場合は、市に返還されます。

令和6年度 政務活動費支出額の 内訳



市民と議会の懇談会 申込受付中です！

「市民と議会の懇談会」は、議員との意見交換を希望する団体・サークル等と、テーマを決めて意見交換をするものです。

横手の今や未来の“あんなこと”“こんなこと”を議員とじっくり話し合ってみませんか。

お申込みは随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。



お気軽にお問い合わせ
ください！



●お問い合わせ先 横手市議会事務局 〒013-8601 横手市中央町8-2 TEL 0182-32-2535 FAX 0182-32-6539

横手市議会だより モニターを募集しています



議会だよりの一層の充実を図るとともに、開かれた議会を目指すため、「横手市議会だよりモニター」を募集します。

●**業務内容** 年4回発行される議会だよりを読んでいただき、アンケート調査などによりご意見をいただくほか、議会だよりモニター会議にご参加いただきます。



●**任 期** 令和8年8月31日まで

●**募集人数** 5名以内

(サークルの代表者等の方から団体としてのお申込みもできます)

●**お申込み** 横手市議会ホームページ(ページ番号1004269)から専用申込フォームにてお申込みいただくか、申込書をダウンロードのうえ必要事項を記載いただき、横手市議会事務局までご提出ください。

●**応募資格** (1)～(2)の要件に該当する方

(1) 次のいずれかに該当する方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所又は事業所を有する方
- ・市内に存する事務所又は事業所に勤務する方
- ・市内に存する学校に在学する方
- ・市に対して納税義務を有する方

(2) 議会が行う広報・広聴活動に深い関心を持ち、公正な社会的見識を有する方

※国会議員又は地方議会議員、横手市職員はご応募いただけません。

議会だよりモニターの
お申込はこちらから



令和6年度に開催したモニター会議の様子



議会だよりモニター会議



高校生議会だよりモニター会議

お申し込み お問い合わせ先

横手市議会事務局

〒013-8601 横手市中央町8-2

TEL 0182-32-2535

FAX 0182-32-6539

Email : gikai@city.yokote.lg.jp

議会の主な動き

4月

- 4日 広報分科会
- 15日 厚生常任委員会協議会
- 18日 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 21日 総務文教常任委員会行政視察(～23日、愛知県豊橋市・豊田市)【P12】
- 24日 東北市議会議長会定期総会(秋田市)
- 25日 全員協議会(行政課題説明会)、議員特別研修報告会

5月

- 16日 群馬県富岡市議会行政視察受入
- 20日 全国市議会議長会第101回定期総会(東京都)
- 22日 大分県九重町議会行政視察受入
- 議会改革推進会議、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 27日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、総務文教常任委員会

6月

- 2日 市議会6月定例会(～6月20日)【P2～11】
- 5日 広報分科会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会(議案説明会)
- 12日 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会
- 13日 厚生常任委員会協議会
- 18日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報分科会
- 25日 宮城県亘理町議会行政視察受入
- 26日 広報分科会
- 新潟県南魚沼市議会行政視察受入
- 30日 産業建設常任委員会行政視察(～7月2日、新潟県燕市・三条市・長岡市・見附市)

青春 キャンパス色

横手城南高等学校
ソフトボール部

私たち横手城南高校ソフトボール部は、現在2年生2名、1年生5名の計7名で活動しています。人数が少ないので湯沢翔北高校との合同チームで試合に出場しています。部員は全員、高校からソフトボールを始めました。毎日、互いに褒め合い、教え合いながら楽しく笑顔で頑張っています。

練習では、日々個人の技術向上を目指し、特に打撃に力を入れて頑張っています。また、自主練習にも積極的に取り組み、自分に足りない部分を重点的に練習しています。合同練習の際には、連携を中心に練習しています。そのため、コミュニケーションを多くとったり、試合を想

定した動きを常にしたたり、合同チームならではの弱さを補えるよう練習に打ち込んでいます。

部訓である「K A Z E」を胸に、「感謝」を忘れず、「あきらめず」「全力で」「笑顔」でプレーしていきます。そして、自分を信じ、仲間を信じて、ソフトボールを仲間とできる時間を楽しみたいと思います。

横手城南高等学校ソフトボール部 2年 松井 まつい 結愛 ゆう あ



横手城南高等学校ソフトボール部の練習風景

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取組を議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて! 横手市議会」を放送しています。議員が交代で出演し、市議会の活動や取組を自らの声で紹介するもので、市民参加を意識した番組づくりに力を入れています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送するとともに、定例会最終日や臨時会当日の夕方には、会議の結果もお知らせしています。ぜひお聴きください。

今後の放送予定

8/11 行政視察報告(産業建設常任委員会)
8/25 9月定例会のお知らせ

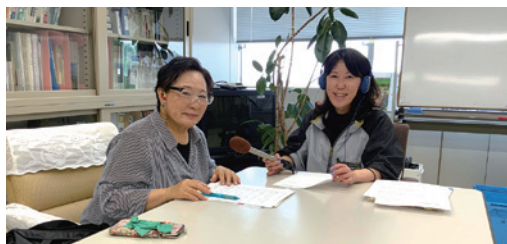
好評
放送中

横手かまくらFM 77.4MHz
もっと教えて! 横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



市議会ホームページで
過去の放送内容をお聴きいただけます。



令和7年6月9日放送
「市議会のハテナ〜一般質問とは〜」

分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が
他にもございましたら、
議会事務局までお知らせ
願います。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの
お待ちしています。

編集後記

広報分科会では、議会だよりモニターの皆さんからいただいた意見などを参考に、日々より良い紙面づくりに努めております。より多くの視点と声が、良い紙面づくりの為に必要ですので、お気づきの点などございましたら是非お声を寄せてくださいますようお願い申し上げます。

(林 一輝)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長	宮川 拓也	副分科会長	林 一輝
委員	加藤 勝義	加藤 雄太	土田百合子
	加藤 雄太		